HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	シンポジウムII： 北海道ダイアログ : 東アジアにおける市民社会対話
Citation	年報 公共政策学, 7, 71
Issue Date	2013-05-17
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/53331
Type	bulletin (other)
File Information	APPS7_005.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

シンポジウムII：
北海道ダイアログ　東アジアにおける市民社会対話

21世紀最大の成長地域として注目を集めている東アジアであるが、凄まじい経済成長を遂げていると同時に、伝統的、非伝統的な脅威をも多く抱えている。分裂国家や領土問題が軍事衝突を惹起する可能性がある一方、SARS や鳥インフルエンザのような新型感染病が国境を超え、急速広がる地域でもある。さらには、経済成長とグローバリゼーションがもたらす構造的な疲弊や歪みがガバナンス能力を弱体化させ、社会構成（social fabric）をすり砕こうとしている。これらの課題をそれぞれの国や地域が取り上げようとしながらも、紛争に煽られやすい閉鎖的なナショナリズムに捉われかねない。今日の東アジアには既存の枠組みを超える知的対話が必要である。それは、国家や市場から自律性を持った「市民」による対話であり、またはその「市民像」をともに思考し、創出するダイアログである。北海道ダイアログはまさにそのような目的を持ったシンポジウムである。

以下はこのシンポジウムにおいて発表された五つの論文を掲載する。

・報告

台湾環境運動の発展：環境正義の観点
邱　花妹　（台湾中山大学社会学系助理教授）…… P.72

台湾労働組合が直面している挑戦
邱　毓斌　（屏東教育大学社会発展系特任准教授）…… P.85

マイクロブログから見る輿論の市民社会
崔　衛平　（北京電影学院元教授）…… P.97

韓国の国家―市民社会の変化と社会運動の挑戦
チョ・ヒヨン
（民主化のための全国教授協議会常任議長　聖公会大学 NGO 大学院長）‥ P.105

韓国における女性学：歴史的軌跡とポジショナリティ
(Korean Women’s Studies: Historical Paths and Positionality)
イ・ナヨン　（中央大学校社会学科教授）…… P.131